

注目の
Key Man

今治市長
徳永 繁樹さん

1969年11月10日生まれ、52歳、今治市出身。京都産業大学経営学部卒。民間企業に勤務した後、2003年から愛媛県議会議員を5期務め、昨年2月に現職就任。スポーツ全般することも観戦することも好きで、現職としては愛媛県バスケットボール協会会長。



**未来への新しい風を起こし
「商いができる」今治の実現へ**

一言 MEMO

好きな言葉は「蔭涼」。^{いんりょう}「政治家として大きく育ち大樹となった時、枝を伸ばし葉を付けて心地良い木陰がたくさんできる。その木陰の中で多くの市民の皆さんが癒される、そういう存在になりたい」という意味が込められている。

—— 就任からこれまでを振り返って。

振り返って見ると、新型コロナウイルスウィルス感染症との闘いに明け暮れた日々だったように思います。一方で、市民の皆さんに掲げてきた公約が約200項目ほどありますから、その公約について一つひとつ職員になぜこの公約を掲げたのか、この公約を達成できた時にどういう波及効果があるのか、そういうことについて説明をしました。「市民が真ん中」という理念を掲げる中で、その意図することは何なのかということについてずいぶん力点を置いて発言し、行動に変えてきたと思います。

—— 進展はありますか。

私自身は広報と傾聴、この二つがないと納得と共感の上に市政の推進はできないと考えています。さまざまな取り組みについても、ラジオに毎週出演して新しい情報を市民の皆さんに向けて発信したり、会見も可能な限り自分が出て自分の言葉で感染状況や今後の取り組みの方向性についてお話しをしてきました。さらには、テレビ

を活用した広報プロモーションに取り組むことで発信力の強化に努めました。そうした中で市民の皆さんからよく見てるよ、聴いてるよとか、新しい動きや今治の魅力が再認識できたといったお声をいただいております。さまざまな分野で市の取り組みについても取り上げていただいているので、そういう意味では納得と共感のベースはできつつあると考えています。

—— マニフェストの政策の柱の一つに「市民の命を守る『商いができる』今治の実現」を掲げていますね。

新型コロナウイルス対策では、感染予防対策の徹底と、医師会ならびに医療従事者などのように連携してワクチン接種を計画的にしかもスピード感を持って誤りなく実施できるかということに心を砕いてきました。ワクチン接種がスムーズに進んだのも、市民の皆さんのご理解とご協力のおかげだと思っています。

—— 飲食店向けにウイズコロナ対策事務局を設置した。支援対策として、感染予防対策



imabari towel
Japan

今治タオル工業組合
代表理事 正岡 裕志
www.imabaritowel.jp

あらゆる色を、思いのままに。色と暮らしのインターフェイス。



株式会社 ヤスハラ

代表取締役 安原 史紀

本社 今治市末広町1丁目3-13 TEL.0898(22)2824(代)
川之江営業所 四国中央市川之江町4064-24 TEL.0896(56)2607(代)
http://www.e-yasuhara.co.jp



行政の課題として、セクシヨナリズムが厳しい一面があります。いわゆる縦割りの意識がなかなか無くならない。私どもが市民の皆さんと対峙している課題は部局を横断していかなければ対応できない、もつと言えば市民が一丸とならないと対応できません。多様なステークホルダーと連携しながらそれぞれの課題にどうあたるかという点において、しがらみがなく変化に柔軟に対応できる若い職員を中心に17のテーマを設定してプロジェクトチームを発足しました。

参加する職員には、目の前の課題ばかりではなく他の部署の課題や、関係する部署はどうかというこ

「市民が真ん中」のまちづくりを推進 スピード感を持って施策を実行

に必要な物品の購入・設置に対して4分の3まで助成する制度を構築し、さらに愛媛県の「愛顔の安心飲食店認証制度」の認証を取得した場合10万円の奨励金を支給します。また感染対策に取り組みそれらの飲食店を「今治市安心認証店」として市が積極的にPRし、市民の皆さんが認証店をご利用する際の特典もご用意させていただきました。

——新しい今治市政の実現に向けて職員によるプロジェクトチームを発足した。

とも意識しながら色々な課題を共有してもらいたいと思っています。

——管内経済の状況は。

本市は人口15万人の街でありますが、日本を代表するさまざまな産業があります。一つが海運や造船、船用等の海事であり、私が市長に就任した時は海運のマーケットは良くありませんでした。造船の受注は持ち一年も見通せないということになると船用も同じ状況です。国あるいは国政に携わる政治家に対し、税制の問題や海事産業の位置付けを骨太の方針にどう盛り込んでいただけるかという提案や提言をさせていただき、一定の果実がありました。世界的に物が動き出し、大型船のマーケットは好転しつつあります。ただ中小型船については現状でも厳しい状況にあり、これまでやってきたことの時点修正を重ねながら、地場産業の持続的な発展に向けた取り組みとして要望もしていきます。

もう一つのタオル産業については、今治タオルというブランディングが功を奏してV字復活を果たしました。結果的にはそこで二極化が生まれ、ブランド力を高めてPBで伸びているところもあれば、今でも中国や国内では泉州タオル等と過当競争の中にある会社もあります。一方で、コロナ禍の購買行動の変化によりECサイトの売上は伸長しました。恒常的な課題について大きな企業は対応できるけれど、零細企業など規模の小さいところについてどうアテンドしていくか、伴走型支援をどうするかということを考えていかなければならないと思っています。

——観光面は。

コロナ禍前の本市の観光客数は276万人でコロナ禍になって138万人に減少し、観光客消費額も58億円から38億円に減少して

株式会社 トップシステム

謹んで新年のお慶びを申し上げます

TOPSYSTEM



本社
横浜支店

〒793-0003 愛媛県西条市ひうち3-70
TEL:0897-52-1910 FAX:0897-52-1912

〒231-0015 横浜市中区尾上町6-86-1-5F
TEL:045-319-6010 FAX:045-319-6011

■ 熊本オフィス ■ 大阪オフィス ■ 松山システムオフィス ■ 札幌リエゾンオフィス

URL: <https://www.topsystem.jp>

“地球と人との、より良い共生を目指し続ける”

新興工機株式会社

〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原1227番1
TEL.089-985-2360(代) FAX.089-985-2271
<http://www.kubocom.co.jp/kouki>

庁内横断プロジェクトチーム発足 政策立案型行政へ体質転換図る

います。宿泊や交通事業者の皆さんにおいても観光客が来ないわけでも厳しい状況にあります。その中でワクチン接種率の向上に伴い必ず人流は起こってくる。その時に備えて何をやるかというところに力点を置き、観光地への交通アクセスの利便性向上を目的に「くるくると称した実証運行を開始したところだ。

また本市と上島町、尾道市が出資し、観光地域づくりに取り組んでいる一般社団法人しまなみジャパンが新たに機能を充実し、尾道市、上島町そして今治市の隅々まで行き届くような観光振興事業を強力に推進していきます。

—— 経済政策について。

本市は合併して17年目を迎えます。市域は5倍になり、その中には顕在化している資源もあればまだまだ眠っている資源もあります。行政的、文化的、経済的にも一度皆さんと掘り下げていこうという取り組みをやらしていただきたい。その価値を共感したなかで人と物、コトを地域内で回していくことを私は地域経済循環と言っています。今治は瀬戸内海のへそに位置し、立地条件の優位性を考えながら施策を打ち出していきます。地域の中で消費されるものを地域の皆さんが作りだしていくという地消地産がベースにあり、その中で価値があるというふうに確信を持ったものを今度は地産外消として外へ売り出していく。これがいわゆる「今治あきない商社」(仮称)ということになります。マーケティング機能を高めて商品開発

を皆さんとやっていくなかで、外商的な動きというものを私自身が先頭に立ってトップセールスでやっていきたいと考えています。

—— 今年の見通しは。

土台を作る一年ですね。今治あきない商社や地域新電力、稼げる農業、さまざまな市の機構改革にしても、SDGsではないですが持続可能なまちづくりについて土台を作る一年。あせらずにじっくり構えていく一年になればと考えています。

一方で、市全体を見ると今治港が開港して100年を迎えます。また商工会議所が誕生して120年になり、瀬戸内しまなみ海道では国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」の開催が予定されるなど、周年事業が目白押しです。こうしたものをしっかりと追い風にしながら、新しい風を吹かしていきたいと思っております。

—— 改めて新市長として意欲をお聞かせください。

市民の皆さんが共感できるようなブランドデザインを早く構築させたいと思っています。例えば本市は12の家族が一つになっています。すけれども、それぞれの家族の在り様はあると思うんですね。その家族的個性を生かしながら、全体的な絵をどのように描いていくかは、本市の目指すべき将来の未来予想図になると考えています。そういうことができる一年にしたいですね。

◆ 記者の目 ◆

今治市の新たな舵取役として、スピード感を持って進めてきた市政改革は徐々に市民生活に根付きつつある。変化を求める市民の期待が大きい中で、まちづくりに新しい風が吹き始めた印象を受けた。



人と人を繋ぎます

公益社団法人 サンフィールド国際人材育成協会

〒799-1101 愛媛県西条市小松町新屋敷 1852-1
TEL:0898-76-9191 FAX:0898-76-9192



豊かな人間環境づくり

株式会社 山本精工所

■本社 愛媛県今治市長沢甲1131番地
〒799-1527 電話(0898)48-0121(代) F A X (0898)48-1751